

めぐりめぐって人を笑顔に

国本小学校 六年 河井 穂佳

仕事って何だろう…。授業で提示されたこの疑問は私の心を大きく揺らした。そして長い時間、この問題についてずっと考え込んでいた。そのようなことを今まで考えたことがなかったからだ。仕事は自分がお金儲けをするためだけにあるのだろうか。私はそれは間違いだと思う。もし私が何かしらの仕事に就くのならば、お金儲けをするためには働かないと思う。私は人を笑顔にするために働くのだ。自分の一ミリの努力で人が救われると思うとがんばれる。でもどの仕事に就けば良いのかが分からない。そんな時、私はこの夢と出会った。お菓子メーカーの商品企画担当者だ。何故この仕事に就きたいと思っただのか。そのきっかけは、遠足のためのお菓子を買った時だった。目の前に個性的な数々のお菓子がずらりと並べられている。そんな時、私は考えた。この数百種類のお菓子はすべて沢山の大人

達が提案して、みんなに認められることができて今ここで売られているのだ。そしてそれは仕事であり、人々の笑顔のために働いているのだ。それから私はこの仕事に就いて働きたいと思うようになった。もし、私がこの仕事に就くのならば、子供を問わず、老若男女に自分の開発したお菓子を「美味しい」と思ってもらえるように努力をしたい。例えば、グミだ。グミは若者に人気なイメージなので、私は老人でも「美味しい」と思ってもらえるように味を変える。抹茶味や少し甘めなほうじ茶味などの馴染みのあるものにして、味や食感はもちろん、香りや見た目、色合いを鮮やかにして誰もがこれを食べたいと思うようなお菓子をこの世界に広めたい。このような事を考えると、私にはこの仕事は絶対に向いていると確信して、自分に自信がつくのだ。そして早く実践

してみたいと思い、心が踊るのだ。このようにいろいろなことを想像していると、また一つの疑問が浮かぶ。「そもそもお菓子って何だろう。」
間食として食べるもの。何だかホッとするもの。食べていると楽しいもの。私はこの三つを重なり合わせて考えていると、すぐに気づいた。お菓子とは、人を明るく気持ちにしてくれるものだ。悲しい時に一口食べると何だか嬉しい。この時、私の前にあった霧が晴れた。お菓子はめぐりめぐって人を笑顔にするのだ。食品の案を出し、人が笑顔になることを願う。作ったお菓子が運ばれて、それを買った人が美味しいと感じる。私は大発見をしたと思った。これからもこの言葉を大切にして夢に向かって進んでいこうと思う。めぐりめぐって人を笑顔に。

河井 穂佳 のライフプラン

将来なにになりたいか？お菓子メーカーの商品企画部の社員
その理由：老若男女に喜ばれるお菓子を企画して、世界に広めたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	12(小6)	学校の勉強 中学受験の勉強	学費 塾代
2023年	13(中1)	(中学に入学) 英語の勉強に励む	日本全国の文化、 特産物やお菓子について学ぶ。
2024年	14(中2)	↓	休日にお菓子作り に挑戦する
2025年	15(中3)	↓	様々なお菓子を試食 してみる
2026年	16(高1)	(高校へ入学) 将来通勤電車で通えるよう、体力をつける	
2027年	17(高2)	大学受験に向けて勉強を開始する	
2028年	18(高3)	TOEICを受ける(英語の試験) 英検	英語の試験 大学入試費
2029年	19(大1)	(大学の経営学部へ入学) マーケティング	大学学費 大学学費 英語の勉強のための 教材代(自費)
2030年	20(大2)	マーケティング	大学学費
2031年	21(大3)	マーケティングについて	大学学費
2032年	22(大4)	マーケティングについて	大学学費
2033年	23	(お菓子メーカーに就職する) 営業部に配属される	英語の勉強のための 教材代
2034年	24	自分の菓子メーカーのお菓子の知識を深める	マーケティングや商品の
2035年	25	自社のお菓子の売上を上げる	マーケティングや商品の
2036年	26	営業成績NO.1社員に選ばれる	マーケティングや商品の
2037年	27	(商品企画部に異動する) お菓子の様々な企画を提案する。	マーケティングや商品の
2040年	30	(アメリカに転勤する) 自分が企画したお菓子をアメリカに広める	アメリカで生活するための 準備費

※最後の行は、荷歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう！